

1 基本的な事項

- 愛知県観光振興基本条例に定める、「観光振興に関する基本的な計画」として、2020年12月に策定
- 「あいち観光元年」宣言を受け、観光関連産業の振興を図ることを、戦略の目的として明確化

戦略の目的

・魅力ある活気に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上に向けて、観光関連産業の振興を図る。

～「あいち観光元年」宣言(2014.12.22)～
「観光集客」を、愛知の生命線である製造業、モノづくりに加えて、愛知の新たな戦略産業として位置づけ

戦略の期間

2021年度～2023年度(3年間)

・本県の観光を取り巻く状況の変化に的確に対応し、新たな動きを素早く取り込んでいくため、計画期間を3年間とした。

3 施策立案・実施にあたっての基本的な方針

- 「目指すべき姿」を実現するため、4つの「基本的な方針」に沿って、施策を立案・実施

基本的な方針

① 独自の魅力・強みの強化

- ・愛知ならではの資源の深掘り・磨き上げ
- ・ジブリパーク開業効果の活用
- ・リニア開業効果の活用の検討

② 地域連携・県民参加とSDGsの実践

- ・市町村や地域の観光関係団体との連携
- ・県民参加の促進、多様な主体との連携
- ・SDGsの理念に基づく持続可能な観光の実現

③ EBPMの実践とデジタルの活用

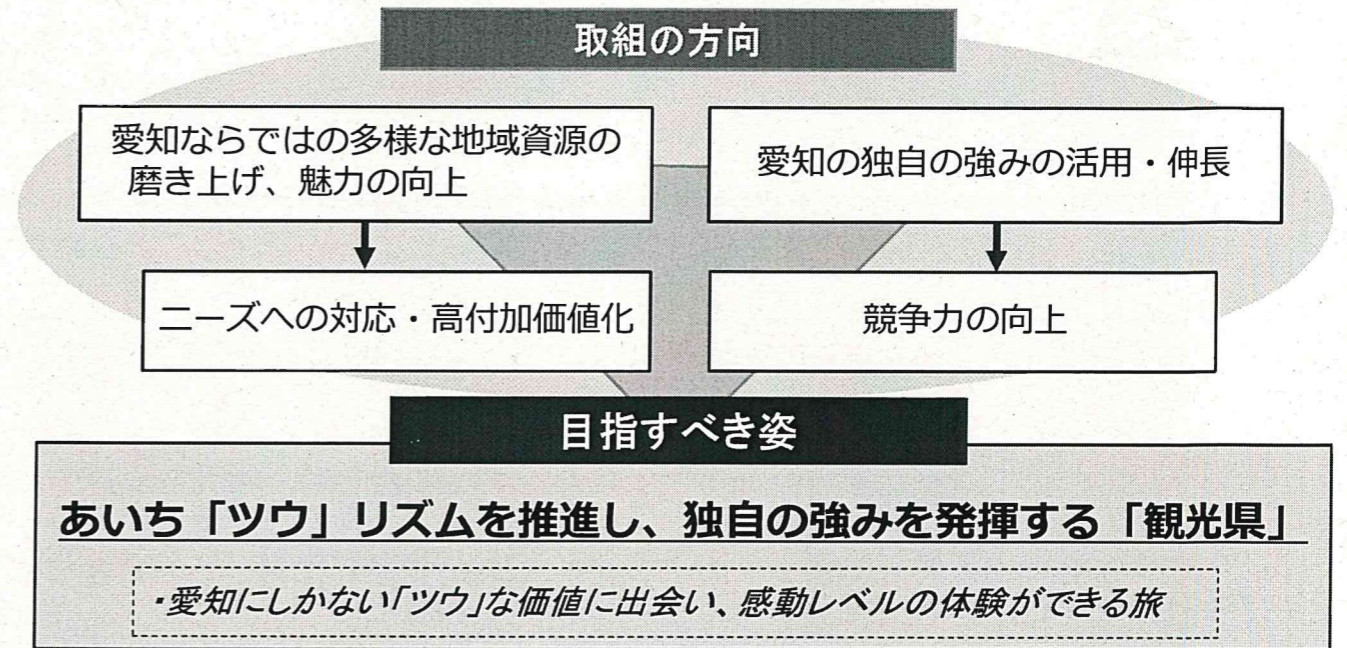
- ・エビデンスに基づく施策立案・実施と分析・評価
- ・デジタルを活用した効果的なPR・プロモーションと的確な効果測定等

④ ウイズコロナ・ポストコロナへの対応

- ・新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応
- ・観光の再生に向けた取組

2 取組の方向・目指すべき姿

- 愛知ならではの地域資源を磨き上げ、観光コンテンツとして高付加価値化を図る。
- 魅力ある地域資源、充実した交通基盤、世界有数のモノづくり産業の集積など、愛知の独自の強みを活かし、競争力の向上を図る。



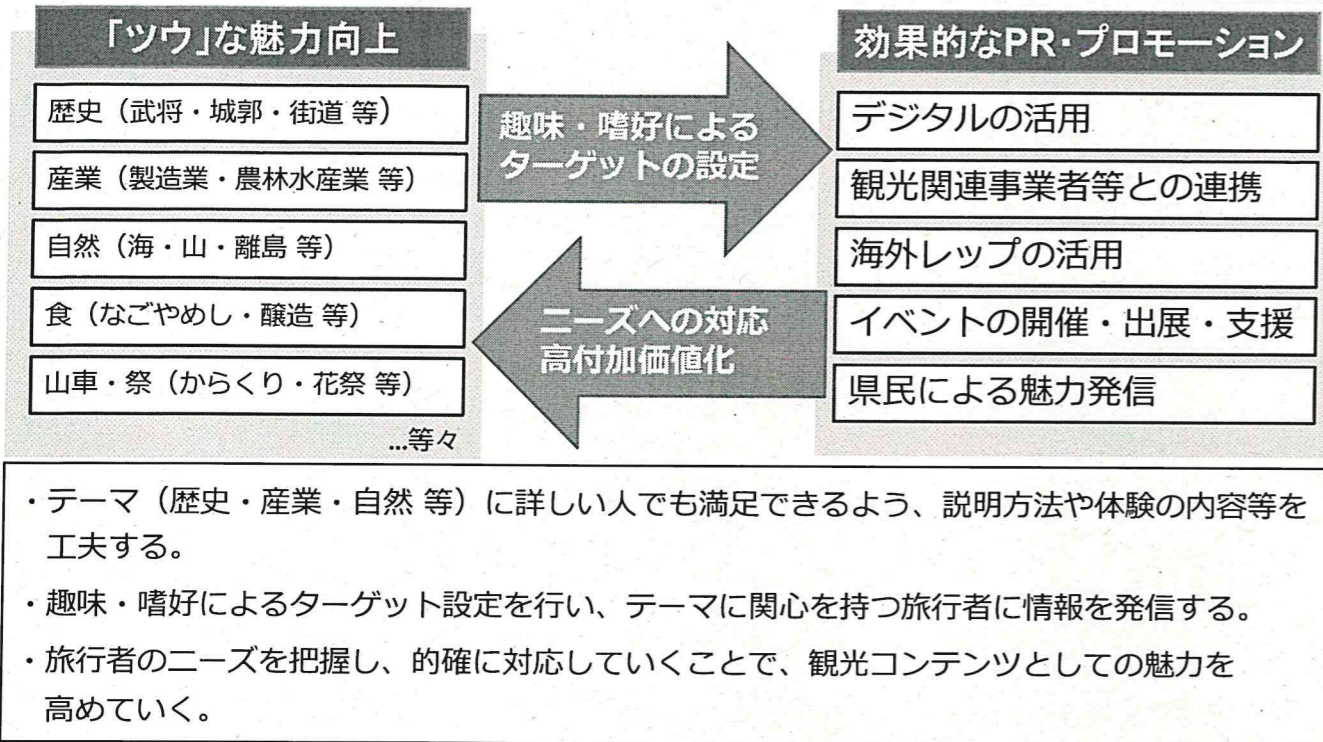
4 施策の柱

- 「目指すべき姿」の実現に向けて6つの施策の柱を位置づけており、「施策立案・実施にあたっての基本的な方針」に沿って、具体的な取組を実施していく

①あいち「ツウ」リズムの推進 ・愛知ならではの「ツウ」な魅力向上 ・効果的なPR・プロモーション ...等	②受入れ体制の整備・充実 ・多言語化の促進等による利便性の向上 ・旅行者の安全・安心の確保 ...等
③観光交流拠点としての機能強化 ・周遊観光・広域観光の推進 ・航空路線・外航クルーズ船の誘致 ...等	④MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expoの活用 ・国際会議・展示会の誘致・開催 ・イベントの誘致・開催 ...等
⑤持続可能な観光の実現 ・観光人材の確保・育成 ・取組体制の構築 ...等	⑥ウィズコロナ・ポストコロナへの対応 ・安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客 ・旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化 ...等

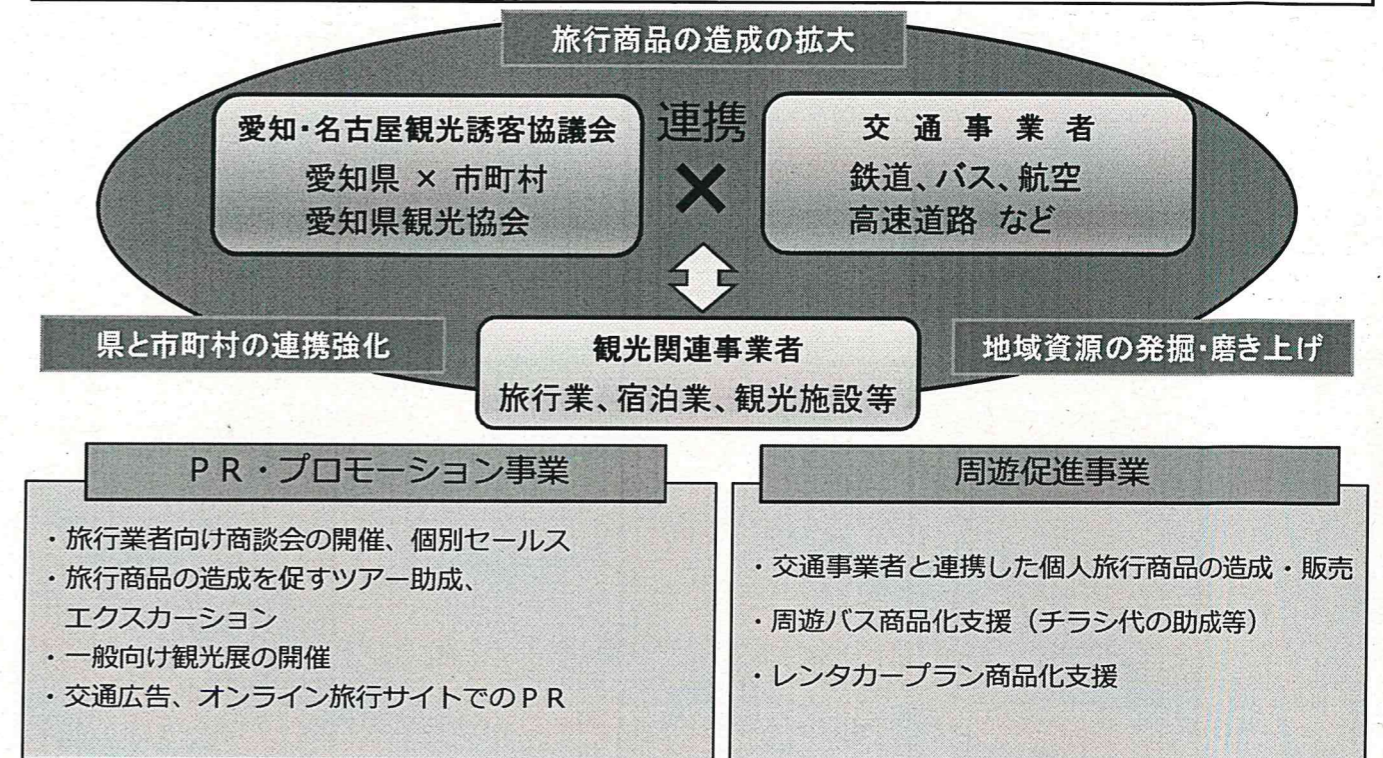
5 あいち「ツウ」リズムの推進

○愛知ならではの地域資源を「ツウ」な魅力※として磨き上げ、デジタルも活用した的確なマーケティングにより、多様化する旅行ニーズに対応しつつ、観光コンテンツとして高付加価値化を図る。 ※誰でも、何度でも楽しめる、奥深い魅力



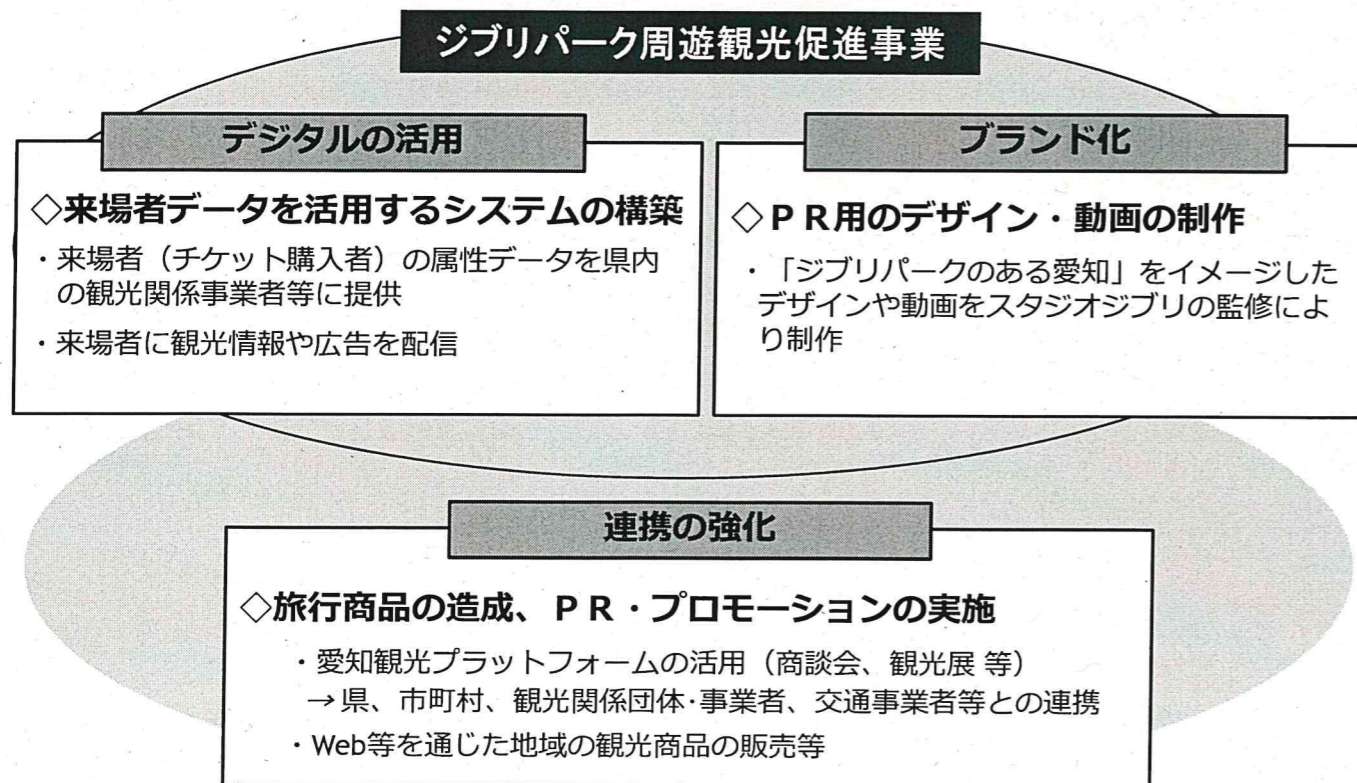
6 愛知観光プラットフォーム

○愛知DC（2017～2019年度）で築いたネットワークを継承・発展させた、交通事業者等との連携の枠組みにより、地域資源の旅行商品化を促進



7 ジブリパークを活用した誘客、広域観光の促進①

○2022年秋のジブリパーク開業は、本県の観光振興にとって絶好の機会。国内外から多くの人を呼び込み、県内周遊観光に導き、効果を広く県内に波及させていく。



8 ジブリパークを活用した誘客、広域観光の促進②

○デジタルを活用した効率的・効果的なPR・プロモーションの実施
○観光関係事業者等が、来場者のデータを活用して的確に広告を配信するシステムを構築

